

川崎市都市計画審議会 第7回都市計画道路網のあり方検討小委員会 議事要旨

- 1 日 時：平成20年3月3日（月） 14:00～16:00
- 2 場 所：明治安田生命ビル2階 第1会議室
- 3 議 題：都市計画道路網のあり方（最終答申）（案）等について

（1）路線別見直し方針等（案）に関するパブリックコメント結果について

今回のパブリックコメントでは、8名の方から計18通の御意見、御要望をいただきました。なお、御意見に対する小委員会の考え方については、前回のパブリックコメントにおいて個別路線を含む意見25通を合わせた計43通について御回答いたします。

（2）都市計画道路網のあり方について（最終答申）（案）

パブリックコメントの結果等を踏まえ、都市計画道路網のあり方について（最終答申）を取りまとめた。具体の選定路線について変更は無いが、要望等の一部については、今後の課題として反映させていただく。

（意見要旨）

- ・ 都市計画道路の進捗率が年間1%くらいしか進んでいない。こういう状況を市民にわかりやすく説明することが必要ではないか。
- ・ 都市のメッシュデータを整備して、どこにどれだけの人が住んでいるか、どこにどれだけの人が働いているのか、どこに買い物に行っているのかというデータを作成すべき。
- ・ 暫定税率の問題に関する市の考えについて
- ・ パブリックコメントの意見数（地区）にばらつき、偏りがある。臨海部に対する意見がほとんどない。
- ・ 今後の課題において、地域に適した道路構造の採用というところで、道路構造令を弾力的に運用していくという表があるが、自動車だけでなく歩行者とか自転車は市民ニーズが高い。何か言葉のなかに具体例みたいなものがあれば非常にわかりやすい気がする。
- ・ 今後の展開について、ある程度のメカニズム的なところは腹に入れておかなければ、空念仏になってしまうのではないかが危惧されるので、それなりの青写真が必要ではないか。

(4) 道路整備プログラムについて

都市計画道路網の見直しでは、「計画の視点」を中心にしながらも、効率的、効果的に都市計画道路の整備を推進するため「事業の視点」も考慮して検討を行うこととしている。

現在、市ではこの事業の視点に関連して新たな道路整備プログラムの策定を都市計画道路網の見直しと並行して行っていることから、これまでの作業状況について川崎市建設局より報告が行われた。

(以上)